

令和元年度

「研究実践地区の紹介」



東海地区公立小中学校事務研究会研究部

東海地区公立小中学校事務研究会 研究部報 実践地区一覧

三重県

- ・紀南教育振興会事務研究会 (熊野支部) … 2

静岡県

- ・浜松市公立小中学校事務研究協議会 (浜松市) … 3
- ・沼津教育振興会事務部 (沼津地区) … 4

愛知県

- ・天白区学校事務研究部会 (名古屋市天白区) … 5
- ・稲沢市教育研究会学校事務部会 (稲沢市) … 6
- ・岡崎市現職研修委員会学校事務部 (岡崎市) … 7

岐阜県

- ・美濃地区小中学校事務研究会 (美濃地区) … 8

問い合わせ先一覧

会の名称	氏名	学校名	電話番号
紀南教育振興会事務研究会	榎本 美奈	紀宝町立井田小学校	0735-32-2004
浜松市公立小中学校事務研究協議会	小澤 広子	浜松市立南陽中学校	053-461-2494
沼津教育振興会事務部	芹澤 朋子	沼津市立原中学校	055-966-0138
天白区学校事務研究部会	森 哲平	名古屋市立平針北小学校	052-805-8801
稲沢市教育研究会学校事務部会	水野 清隆	稲沢市立下津小学校	0587-32-7612
岡崎市現職研修委員会学校事務部	山田 智哉	岡崎市立井田小学校	0564-22-2146
美濃地区小中学校事務研究会	加藤 修二	関市立金竜小学校	0575-28-2303

*研究についてのご質問は、上記問い合わせ先へお願いします。

三重県

テ ー マ	学校運営を支える学校事務の創造		
地 区 名	熊野支部	会 の 名 称	紀南教育振興会事務研究会
研究責任者	榎本 美奈	所 在 地	南牟婁郡紀宝町井田1787-2
学 校 名	紀宝町立井田小学校	電 話 番 号	0735-32-2004

1 研究の概要

紀南教育振興会は、三重県の南端に位置する熊野市・御浜町・紀宝町の公立小中学校教職員で構成される研究会です。その中の一つの研究部会として、事務研究会は各学校の事務職員27名で研究を進めています。

昨年度、学校教育法において事務職員の職務が「事務をつかさどる」と改正されたことを踏まえ、課題解決能力の向上や、学校経営・運営への積極的な参画へ一歩でも近づけるよう、研修を進めています。

また年々進む児童生徒の減少による学級減、休校、統廃合。会員数はこの10年ですいぶん減りましたが、学校現場の課題は以前にもまして山積しています。今後熊野支部は退職者が増えていきます。新たに加わる会員へ、事務研究会の活動を今後どのように引き継いでいくのかが課題となっています。

2 実践内容

年度初めの紀南教育振興会総会時に年間研究計画を立て、年度末の紀南教育研究集会で、研究部会ごとに研究発表を行います。そのため、年間6回の部会を持ち研究を進めます。

本年度の研究テーマとして、昨年度から引き続き次の2つのテーマにわかれて研究を進めています。

(1) 共同実施を考える

主幹・総括主幹により構成される部会となっています。熊野支部内の5つの共同実施グループの取組状況や課題を共有し、改善に向け協議しています。

本年度は、10月に開催される三重県公立小中学校事務研究大会にむけた「資質向上・人材育成」についてのレポートを作成し検討しています。また11月に開催される小中学校事務職員ブロック研修の企画運営について、熊野支部における協議を行っています。

(2) 教育条件整備について

学校現場における教育条件上の問題点や、解決に向けた様々なアイデアを持ち寄り、情報共有を行っています。施設・設備の修繕・改善の例、新たに購入した備品の紹介、子どもたちの学習支援につながるような提案など多岐にわたっています。ここで得た知識を各学校の教職員や子どもたちへ還流していけるような研修となるように、取り組んでいます。

静岡県

テーマ	「子供の幸せのために」～学校事務職員のチカラ～		
地区名	浜松市	会の名称	浜松市公立小中学校事務研究協議会
研究責任者	疋田 邦恵	所在地	浜松市南区増楽町700
学校名	浜松市立可美中学校	電話番号	053-447-0146

1 研究の概要

浜松市には小学校97校、中学校49校（うち分校各1校ずつ）があり、うち3校は小中一貫校となっています。事務職員数は正規154名、再任用13名、欠員臨時18名、非常勤21名です。

本会は、会員相互の連携をもとに、学校事務に関する研究を推進し、会員の資質向上を図り、もって浜松市の学校教育の発展に寄与することを目的としています。

浜松市では、平成29年度県費負担教職員の権限移譲に伴い、学校事務センターが設置され、新しい制度による学校事務の形が定着してきました。

学校教育法の一部改正により、学校事務職員の職務が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」となり、学校事務職員としての専門性を発揮し、学校運営にどのように参画できるか、どうすれば「教職員の負担軽減」につながるのかが課題に挙げられます。

事務職員個々の資質向上を図り、学校事務職員のチカラを結集し、「子供の幸せのために」同じ目標に向かって研究活動の推進を行うため、研修委員会の本年度研修テーマを設定しました。

2 実践内容

- (1) 研究部（事務改善委員会）
 - 1) 学校事務の在り方の検討
 - 2) 事務提要（手引き等）の作成
 - 3) 諸課題の検討
- (2) 研究部（情報委員会）
 - 1) 情報処理能力向上方法の研究実践
 - 2) ICT活用による事務処理改善
 - 3) 各種調査のとりまとめ
 - 4) 機関誌「はまじけん」、研究集録の作成
- (3) 研修部（次世代育成委員会）
 - 1) グランドデザインの策定
 - 2) 研修体系の検討
 - 3) 次世代育成のための研修企画
- (4) 研究部（研修委員会）
 - 1) 事務職員全体のレベルアップ研修企画

静岡県

テーマ	子どもの豊かな育ちを実現する学校事務		
地区名	沼津地区	会の名称	沼津教育振興会事務局
研究責任者	芹澤 朋子	所在地	沼津市原576
学校名	沼津市立原中学校	電話番号	055-966-0138

1 研究の概要

沼津教育振興会事務局は、沼津市の小学校 23 校 中学校 16 校 小中一貫学校 市立高中等部各 1 校の計 41 校で構成されています。

昨年度までの研究は、共同実施のアクションプランと結びつけた、班別研究を行ってきましたが、今年度は、共同学校事務室の設置に伴い、職務内容や執務環境の変化など、今まで以上に「チーム学校」の一員として積極的に学校経営に参画することが求められている中で、沼津教育振興会事務局として、「学校事務機能の強化」についての研究をするとともに、個々の資質向上に繋がるような研究活動を行っています。

2 実践内容

(1) 研究会と共同学校事務室との連携

共同学校事務室での事務処理を進めるにあたり、必要に応じて、研究会と連携し研究を推進していく。その中で個々の資質向上を図る。

(2) 「自己研修計画シート」の活用

年度初めに自己研修計画シートを作成し、各種研修への参加を促すとともに、自己目標を設定する。

年度末には 1 年間の自己の研修を振り返り、シートに成果を記入し、次年度へつなげていく。

(3) 全体研修

1) 事務職員研修会

ア 自己研修計画シートに基づいた話し合い

年代・経験年数別のグループに分かれ、個々の自己研修計画を持ち寄り、同世代の人がどのようなことを目標にし、「あるべき姿」をどう考えているかなどを聞くことで、自己の研修目標を考え見つけなおす話し合いをする。

イ 職場の健康づくり講座「ストレッチ&リラックス」

講師 JA静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院
理学療法士 清水 美晴 氏

2) 教頭・事務職員合同研修会

ア 共同学校事務室の現状と課題について

- ・静岡県教育委員会義務教育課 課長代理 戸塚 康史 氏 講話
- ・沼津市の現状と課題を統括事務主幹より説明
- ・中学校区単位を基にしたグループに分かれ、「共同学校事務室について」「学校の働き方改革」「多忙化解消」についての意見交換を行う。

イ 変形労働時間制について

- ・統括事務主幹より、31 年度に通知された変形労働時間制の内容や基本的内容を中心に、演習問題も含めた研修を行う。

愛知県

テ ー マ	予算計画（「マイスクールプランの実施」の提案）資料作成及び区内研修の実施		
地 区 名	名古屋市天白区	会 の 名 称	天白区学校事務研究部会
研究責任者	森 哲平	所 在 地	名古屋市天白区平針1-501
学 校 名	名古屋市立平針北小学校	電 話 番 号	052-805-8801

1 研究の概要

天白区学校事務研究会（以下、「区事務研」）は、植田南小を主会場として、小学校、中学校、特別支援学校のすべての校種が参加する多様な会員構成で研究活動を行いました。名古屋市立小中特別支援学校事務研究協議会の世話係会に合わせ、年間8回開催しました。区事務研が開催されない月も、メールによる情報交換を積極的に行い、研究活動や日々の業務に役立てました。

2 実践内容

(1) 情報交換

若手の学校事務職員からベテランの学校事務職員まで活発に情報交換しました。政令指定都市への給与負担等の移譲（以下、「権限移譲」）による制度の変更から1年経ち、給与、サービス関係について、活発に情報交換が行われました。また、グループ研究にも絡み、経理関係の疑問等にも、区内の会員が意見を出し合い解決に導きました。

(2) 「マイスクールプランの実施」の提案

名古屋市では、マイスクールプラン（各校の特色ある事業の計画）の実施のための予算が各校に配当されています。この予算では体験学習にかかる校外学習児童生徒交通費や外部講師の謝金、行事に伴う会場の借り上げなどの経費の支出ができません。各学校で計画を立てるのですが、各学校単独での計画であり、情報共有はなされていませんでした。そこで区内の情報を集約し、行われている校外学習や講演会等の情報を共有して資料を作成すること、さらにその資料を活用して各校の学校事務職員や担当者に情報提供を行い、よりよいマイスクールプランの計画や予算の有効的な執行について検討することを目的とし、研究を進めました。そして、各学校から実施内容のアンケートを取り、各校の執行内容の一覧を作り、区内で共通する特徴や、独特の内容などをまとめました。自分たちだけの資料でなく、学校事務職員から各学校への情報提供を通して、よりよいマイスクールプランの計画や予算の有効的な執行につながればと考えています。

(3) 区内研修

学校としての課題を共有しやすい区という単位で研修を行うことで、学校事務職員としての専門性を効率的に高めることができると考え、テーマ設定、運営等についての方法を検討しました。実際に、区事務研の顧問校長を講師に迎えて「教育課程」についての研修会を開催し、事前調査、講師依頼や事後のアンケートに関するノウハウを確認することで、今後必要に応じて区内で研修を開催する際の資料とする事が出来ました。

愛知県

テーマ	学校事務職員が学校運営に参画するための基盤整備		
地区名	稲沢市	会の名称	稲沢市教育研究会学校事務部会
研究責任者	水野 清隆	所在地	稲沢市下津ふじ塚町83
学校名	稲沢市立下津小学校	電話番号	0587-32-7612

1 研究の概要

平成29年の学校教育法及び地教行法の改正を受け、稲沢市でも学校管理規則の改正があり共同学校事務室が設置されました。また県教育委員会からは「学校事務職員の校務運営への参画について」の通知が発出されるなど、学校事務職員には学校教育法の「つかさどる」の具現化が求められています。

このような動きを受け、本部会でも平成29年度より学校事務の組織化と共同学校事務室の活用方法や学校事務の組織化による校務運営への参画、教職員の負担軽減について研究を重ねてきました。しかし一方では、世代交代により本市の事務職員の8割が主事・主任という構成になり、経営参画を支える基盤が脆弱になっています。

このような本市の現状を踏まえ、①共同学校事務室を効果的に機能させるための基盤整備、②事務職員の力量向上のための研修体系の整備に重点を置いて研究を進めることとしました。

2 研究の実践

(1) 研究推進委員会

稲沢市では研究推進委員〔部長・校長1名、副部長・教頭1名、事務職員3名（R1年度からは5名）〕が核となり研究を進めています。毎年10月に開催される市教育研究集会において研究発表・研究協議の企画と発表を担当しています。今後重点を置くべき業務や校務運営参画につながる業務、運営参画上の課題などについてのアンケートを実施して市内事務職員の現状を把握し、そこから抽出された課題・テーマを市内全事務職員がワークショップ形式で解決策を協議するなどして研究を進めてきました。

また平成30年度からは、プログラム評価手法の『GTO™評価』を導入し、①研究当初に研究全体の展開を構想し（ロジックモデルの構築）、②プログラムを促進する要因・プログラムを阻害する要因を抽出し、③それらをどうするか（促進するのか？阻害要因を減らすのか？）を決め、④具体的な取組の計画を立てる。また評価計画として、①取組が計画通りにできたか？計画に無理・矛盾・錯誤などがなく論理的に正しい計画であったか？などを評価するプロセス評価と②取組の目標が達成できたか（成果が得られたか）？を評価するアウトカム評価の2つの観点でプログラム全体を評価していく方法を取り入れて研究活動を進めています。

今年度は、「共同学校事務室運営マニュアル」完成までの過程に『GTO™評価』を適用し研究活動の評価に活用しています。

(2) 専門部活動

研究部として次の5つのグループを設置し、35名の事務職員全員がいずれかの部に所属し、実務に直結する課題について研究・研修活動を進めています。

- ①学校運営参画グループ
- ②集金経理処理グループ
- ③公費化推進グループ
- ④施設・備品整備、物品購入グループ
- ⑤事務支援グループ（ハンドブック編集、マニュアル更新・追加、文書分類見直し、「事務フォルダ」メンテナンスなど）

愛知県

テ ー マ	事務の効率化、標準化をめざして～岡崎市の取組～		
地 区 名	岡崎市	会の名称	岡崎市現職研修委員会学校事務部
研究責任者	山田 智哉	所在地	岡崎市井田町茨坪4-3
学 校 名	岡崎市立井田小学校	電話番号	0564-22-2146

1 研究の概要

岡崎市では84名の事務職員がテーマごとに研究企画、情報、研修、給与、庶務、人事の6つの班に分かれ研究を進めています。各班それぞれ年3回程度の会合と随時電子メール等で連絡を取りながらの活動です。また年3回の全体会議で各班の活動状況を報告し、「活動計画」「研究のまとめ」を作成しています。

2 実践内容

(1) 研究企画班

平成27年度より共同実施が始まり、3年計画で①学校基本調査 ②給食発注・学校徴収金事務 ③就学援助事務 ④教科書関係事務に事務職員が何らかの形で携わることになりました。事務職員への期待が高まる中、新たな課題・問題も出てきます。それらの解決策を考え、事務の効率化・平準化につながる研究を行っています。平成30年度は市内共通の事務データの保存方法として「事務部統一フォルダ」「市内統一の長期休業中の動向表」を作成し、提案しました。

(2) 情報班

教育ネットワークを活用した事務改善と情報共有を行っています。具体的には、様式・手引き等、仕事をする上で役立つ情報が掲載されているホームページの管理運営、事務職員が携わる全ての仕事について、月ごとの予定表を作成しています。

(3) 研修班

事務職員の資質向上のために、効果的な研修についての研究、研修会の企画運営岡崎市新規採用者研修の考察を行っています。平成30年度は、介護保険をテーマに研修会を行いました。また、新規採用研修の見直しを岡崎市教育委員会に提案し、令和元年度より研修内容が一部変更されました。

(4) 給与班

県費給与・旅費等について能率よく処理できるように研究を行っています。平成30年度は、事務だよりの発行、「事例別チェックリスト」の改訂を行いました。

(5) 庶務班

岡崎市費経理・文書管理等について、事務の標準化、効率化の研究を行っています。平成30年度は、「学校文書分類表」「学校定例監査の手引き」「学校事務の手引き（庶務編）」の改訂を行いました。

(6) 人事班

人事・服務に関する事務の効率的かつ正確な処理の実現に向けて研究を行っています。毎年、「学校事務の手引き（人事編）」「期限付・臨時的任用職員になられたあなたへ」「派遣非常勤講師になられたあなたへ」の改訂を行っています。

岐阜県

テーマ	子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務		
地区名	美濃地区	会の名称	美濃地区小中学校学校事務研究会
研究責任者	加藤 修二	所在地	関市上白金482-1
学校名	関市立金竜小学校	電話番号	0575-28-2303

1 研究の概要

美濃地区小中学校学校事務研究会は、関市、美濃市、郡上市の3市で、小学校45校と中学校19校の計64校、会員数65名で構成されています。本研究会では、子どもたちの豊かな育ちを念頭に置き、教育活動を充実させるため諸条件の整備に心掛けるとともに、資質・能力の向上に努め、積極的に学校経営への参画を図りながら研究活動を行っています。

平成29年4月に行われた職務規定の改正や、現在進められている新学習指導要領等の教育改革や働き方改革で期待されている学校事務職員の役割実現に向けて、県事研が提案する、岐阜県型共同実施「学校運営支援室」の体制整備・強化が不可欠のものと考えています。今後、3市全てで、「岐阜県型共同実施」が実現し、一層の推進が図られるよう、その効果を確認しながら、課題解決のあり方をさらに探求し研究テーマの実現を図っていきます。

(1) 研究テーマ

「子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務」
～学校経営をサポートする共同実施の推進～

(2) 研究の重点

- 1) 子どもたちが安全で安心して学び生活できる環境を整えるとともに、信頼される学校づくりに努める。
- 2) つかさどる職として、積極的な職務の遂行と研究活動を通して、資質・能力の向上に努める。
- 3) 学校事務体制を整備し、組織的な学校事務に努める。

2 実践内容

美濃地区小中学校学校事務研修会（年1回）では、美濃教育事務所事務担当者から給与や旅費事務に関する話を聞くことで、適正かつ効率的に事務処理が行えるように努めていきます。また、関市役所危機管理課職員を講師に、HUG研修を行います。避難者の年齢や性別、それぞれが抱える事情などが書かれたカードを、避難所となる学校の校舎や体育館に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、そして避難所で起こる様々な出来事にどう対応するのかを学びます。分散会では、3市の共同実施や働き方改革について交流することで、学校管理運営の適正化と効率化を図ります。